

実施による工夫と得られる効果の検証（事前案内文）

■実施による工夫

- ①事務局、渉外委員会と案内状送付先の情報を共有し、住所や担当者等の情報に変更等がないか確認します。
- ②事前案内文および定発へは 70 周年シンボルマークを添付し、70 周年であることを強く印象付けます。
- ③全会員に対し、対外対象者への創立 70 周年記念式典及び創立 70 周年記念祝賀会参加動員について依頼させていただきます。また、動員リストを作成し、誰にお声がけしたかを皆で共有できるようにさせていただきます。なお、入力各自 Google フォームにて行いただき、動員結果はスプレッドシートにて全員が閲覧可能とします。また、スプレッドシートは理事 LINE 内で展開し、各委員会内で配信していただきます。（動員依頼確認フォーム）
- ④各同好会へ積極的に参加し、四日市 JC シニアクラブ会員の皆様とお会いしたときに、5 月 15 日に創立 70 周年記念式典及び創立 70 周年記念祝賀会が開催されることを周知します。

■得られた効果

- ①事前案内文を送付する前に事務局と渉外委員会に確認を行ったが、本年度以前に住所変更や郵送物の発送停止通達の記録が残っていない方がいたため、返送されてきた郵送物が発生していた。今後、住所変更や郵送物の発送停止通達があった場合には、その都度事務員と記録を残しておく必要がある。
- ②四日市青年会議所が 70 周年であることがわかりやすいシンボルマークを作成し各案内文に添付していたことによって、対外の方へ四日市青年会議所が 70 周年であることを強く印象付けることができていた。
- ③各同好会や公式事業、プライベート等で参加対象の方とお会いした際に、お声掛けしていたリストを作成したことによって、お声掛けする方が被ることなく口頭での案内をすることができていた。また、欠席になることが予想されることを事前に知っておくことで、強く依頼することができ、参加していただくことに変更することができていた。
- ④各同好会に委員会として積極的に参加をし、多くの四日市 JC シニアクラブの皆様に周知することができていた。